

2026 年 3 月 13 日

昭和産業株式会社

ファイトケミカルプロダクツ株式会社
イオン交換樹脂を用いた反応分離技術の実証設備落成
お披露目を開催
～未利用油資源のアップサイクル技術の社会実装へ～

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 塚越英行）は、資本業務提携先であるファイトケミカルプロダクツ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役 加藤牧子）がイオン交換樹脂を用いた反応分離技術によって未利用油資源をアップサイクルする実証設備を完成させたことを受け、2026 年 3 月 13 日（金）、実証設備落成お披露目会が開催されましたのでお知らせします。

本設備は、東北大学大学院工学研究科の北川尚美教授・廣森浩祐助教が開発したイオン交換樹脂を用いた反応分離技術を活用し、植物油を製造する工場より発生する副産物より高付加価値の機能性素材とバイオ燃料を同時に製造する、自社設計による実証設備です。本実証設備は、イオン交換樹脂を用いた反応分離技術のスケールアップに加え、自動化およびプロセス最適化に取り組みます。

当日は、東北大学関係者をはじめ企業関係者や報道関係者が出席し、設備概要の説明のほか、テープカットおよび実証設備の見学が行われました。来賓挨拶に立った昭和産業株式会社取締役常務執行役員の大野正史は、「本実証設備は量産化技術の確立に向けた重要なステージであり、社会実装へ踏み出すための大きな一歩です。当社グループとしてもファイトケミカルプロダクツ株式会社との事業面・技術面の連携をさらに深め、本取り組みを着実に前へ進めていきたい」と述べました。

昭和産業は 2024 年 10 月にファイトケミカルプロダクツ社と資本業務提携を締結し、同社のイオン交換樹脂を用いた反応分離技術を活用した取り組みを双方で進め、本日のお披露目会に至ったものです。この取り組みは、本年 4 月よりスタートする新長期ビジョン、中期経営計画 26-29 における「戦略的価値創出領域」として掲げているオレオケミカル分野、ファインケミカル分野の具体的事例の一つと位置付けており、この技術を最大限活用し、今後の当社グループの新たな価値創出につなげてまいります。

今後も両社は、本実証設備での検証を通じて量産化技術の確立を目指し、持続可能な社会の実現に向けて共に取り組んでいきます。



以 上